



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東名

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,278	△18.9	198	△5.2	93	△26.2	63	△63.3
28年3月期第2四半期	2,809	△0.1	208	—	126	—	172	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △32百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	2.12	—
28年3月期第2四半期	5.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,183	4,267	4,267	4,300	22.2
28年3月期	18,996	4,300	4,300		22.6

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 4,267百万円 28年3月期 4,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△13.1	350	△7.6	180	140.7	140	12.2	4.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 4「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	30,000,000 株	28年3月期	30,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	67,498 株	28年3月期	66,213 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	29,933,568 株	28年3月期2Q	29,934,059 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替の円高推移や不透明な新興国経済の影響から輸出・生産面の鈍化や企業業績の足踏みがみられたものの、国内の各種政策効果により、雇用・所得環境は底堅く推移したことから、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

こうした中で、当社グループは、新たに今年度から「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」をスタートさせ、「財務体質の強化」「プロパー事業の強固な基盤作り」「利益の底上げ」を最優先課題として取り組んでおります。

「財務体質の強化」では、平成28年度第1四半期において既存借入金の全額を長期のシンジケートローンによる借り換えで安定的な長期資金を確保するなど、中期経営計画で目標とする財務諸指標を着実に達成しつつあります。

「プロパー事業の強固な基盤作り」では、商業施設事業において、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」でキッズ向けイベントの強化やより魅力的なテナントの誘致などに注力し、集客力の増強に取り組みました。ヘルスケア事業において、猛暑を営業機会と捉え当社独自技術を活用した夏用健康素材「バイオ麻」などの商品の拡販に注力しました。繊維・アパレル事業においては、構造改革によりスリム化し採算性が向上した事業の収益増強に努めました。

「利益の底上げ」では、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」により売上高は前期比減少となるものの、損益面では採算性向上や経費削減の効果を期待しております。既に、平成28年8月10日付で「平成29年3月期第2四半期(累計)および通期の連結業績予想の修正」にて業績予想の上方修正を公表するなど、着実に利益の底上げを進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」による売上高減少や、夏場の猛暑の影響から繊維・アパレル事業において秋冬物の売上が伸び悩んだことから、売上高は22億78百万円(前年同期比18.9%減)となりました。損益面では、粗利率の改善効果や販売管理費の削減効果などがあるものの、売上高の減少が響き、営業利益は1億98百万円(前年同期比5.2%減)、シンジケートローン実行に伴う当初費用の負担などにより経常利益は93百万円(前年同期比26.2%減)、さらに、シンジケートローン実行に係る借入金の中途解約損失などの特別損失や法人税等の負担を考慮した親会社株主に帰属する四半期純利益は、63百万円(前年同期比63.3%減)となりました。

なお、計画対比におきましては、平成28年11月9日付で「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、連結業績は本年8月に修正後の業績予想を各段階で上回る増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、ヒット作に恵まれた映画館に加え、ゴールデンウィーク商戦や夏場のイベントに注力し集客確保に努めたことなどもあり、堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は12億2百万円(前年同期比0.9%増)、減価償却費減少による粗利率改善効果もあり営業利益は5億16百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、家庭用温熱電位治療器が順調に売上を伸ばしたものの、高額の遠赤外線商品などが伸び悩んだことから、売上高は前年同期から微減となりました。

一般寝装品部門につきましては、業務用寝装品の受注が順調であったことから、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は3億99百万円(前年同期比2.8%増)の増収となりましたものの、原材料費の高止まりや販売管理費の増加が響き、営業損失は20百万円(前年同期は営業損失11百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」に伴う売上高の減少や、夏場の猛暑の影響から繊維・アパレル事業において秋冬物の売上が伸び悩んだことから、売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、前期大口受注のあった民需ユニフォームの反動減により売上高は前年同期を下回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は6億76百万円(前年同期比45.0%減)と減収となりましたものの、販売管理費の削減効果もあり、営業損失は5百万円(前年同期は営業損失15百万円)と前期比改善しました。

- (注) 1. 上記のセグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。
2. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。
3. 記載している見通し等将来についての事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産等の状況)

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は191億83百万円(前期末は189億96百万円)となり、前期末に比べ1億87百万円増加(前期末比1.0%増)しました。主な要因は、現金及び預金の増加6億30百万円、建物及び構築物の減少1億58百万円、投資その他の資産のその他(出資金)の減少1億60百万円であります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は149億16百万円(前期末は146億95百万円)となり、前期末に比べ2億20百万円増加(前期末比1.5%増)しました。主な要因は、短期借入金の減少28億30百万円、社債の減少6億96百万円、長期借入金の増加44億81百万円、長期預り保証金の減少4億40百万円であります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は42億67百万円(前期末は43億円)となり、前期末に比べ32百万円減少(前期末比0.8%減)しました。主な要因は、利益剰余金の増加63百万円、為替換算調整勘定の減少95百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローで58百万円のプラス(前年同期は4億62百万円のマイナス)、投資活動によるキャッシュ・フローで3億59百万円のプラス(前年同期比228.9%増)、財務活動によるキャッシュ・フローで2億94百万円のプラス(前年同期比22.1%増)となりました。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は13億97百万円(前年同期比73.1%増)となり、前期末に比べ7億10百万円増加しました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、58百万円のプラス(前年同期は4億62百万円のマイナス)となりました。これは主に、減価償却費2億4百万円、預り保証金の減少1億4百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億59百万円のプラス(前年同期比228.9%増)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入80百万円、出資金の売却による収入2億62百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億94百万円のプラス(前年同期比22.1%増)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額5億40百万円、長期借入れによる収入94億円、長期借入金の返済による支出72億8百万円、社債の償還による支出8億65百万円、建設協力金の返済による支出4億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年8月10日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,476	1,407,709
受取手形及び売掛金	512,836	522,040
たな卸資産	424,094	505,810
その他	141,807	26,228
貸倒引当金	—	△500
流動資産合計	1,856,216	2,461,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,488,744	6,330,522
土地	9,343,758	9,343,758
その他(純額)	228,419	211,978
有形固定資産合計	16,060,922	15,886,260
無形固定資産		
無形固定資産	12,995	11,300
投資その他の資産		
投資有価証券	833,411	743,630
破産更生債権等	101,243	93,033
その他	228,038	77,422
貸倒引当金	△96,583	△89,280
投資その他の資産合計	1,066,110	824,805
固定資産合計	17,140,028	16,722,366
資産合計	18,996,244	19,183,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,870	398,940
短期借入金	3,168,584	338,400
1年内償還予定の社債	169,000	—
未払法人税等	7,002	23,909
賞与引当金	31,677	32,866
株主優待引当金	—	24,899
その他	783,526	643,032
流動負債合計	4,561,660	1,462,049
固定負債		
社債	696,500	—
長期借入金	4,495,106	8,977,000
長期預り保証金	2,226,166	1,786,088
繰延税金負債	3,194	5,401
再評価に係る繰延税金負債	2,212,849	2,212,849
退職給付に係る負債	248,096	254,955
資産除去債務	44,132	52,528
その他	208,224	165,362
固定負債合計	10,134,269	13,454,185
負債合計	14,695,929	14,916,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,812,168	△2,748,799
自己株式	△7,033	△7,124
株主資本合計	△815,826	△752,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,462	△24,582
繰延ヘッジ損益	△484	△78
土地再評価差額金	4,990,956	4,990,956
為替換算調整勘定	149,131	53,673
その他の包括利益累計額合計	5,116,141	5,019,969
純資産合計	4,300,315	4,267,420
負債純資産合計	18,996,244	19,183,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,809,659	2,278,141
売上原価	2,114,240	1,621,289
売上総利益	695,419	656,852
販売費及び一般管理費	486,537	458,840
営業利益	208,881	198,011
営業外収益		
受取利息	92	26
受取配当金	2,707	2,963
持分法による投資利益	—	1,047
還付消費税等	—	48,324
投資有価証券売却益	32,660	—
出資金売却益	11,539	—
違約金収入	12,725	—
その他	3,798	1,691
営業外収益合計	63,524	54,054
営業外費用		
支払利息	127,185	65,484
持分法による投資損失	2,722	—
シンジケートローン手数料	—	78,166
その他	16,356	15,285
営業外費用合計	146,265	158,936
経常利益	126,140	93,129
特別利益		
出資金売却益	—	109,743
事業譲渡益	64,814	—
特別利益合計	64,814	109,743
特別損失		
繰上返済精算金	—	107,257
特別損失合計	—	107,257
税金等調整前四半期純利益	190,954	95,615
法人税、住民税及び事業税	18,481	30,040
法人税等調整額	△216	2,206
法人税等合計	18,265	32,246
四半期純利益	172,689	63,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,689	63,368

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	172,689	63,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,458	△1,119
繰延ヘッジ損益	297	406
土地再評価差額金	2,890	—
為替換算調整勘定	298	△5,749
持分法適用会社に対する持分相当額	11,604	△89,708
その他の包括利益合計	△368	△96,171
四半期包括利益	172,321	△32,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,321	△32,803
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	190,954	95,615
減価償却費	213,376	204,768
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41,607	△6,802
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△361,200	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,620	1,189
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	24,899
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23,239	6,858
受取利息及び受取配当金	△2,800	△2,990
投資有価証券売却損益(△は益)	△32,660	—
出資金売却損益(△は益)	△11,539	△109,743
支払利息	127,185	65,484
繰上返済精算金	—	107,257
持分法による投資損益(△は益)	2,722	△1,047
事業譲渡損益(△は益)	△64,814	—
売上債権の増減額(△は増加)	297,550	△14,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	119,912	△81,724
破産更生債権等の増減額(△は増加)	41,642	8,210
仕入債務の増減額(△は減少)	△358,180	20,230
預り保証金の増減額(△は減少)	△155,967	△104,802
その他	△267,554	33,378
小計	△327,841	246,197
利息及び配当金の受取額	2,795	2,990
利息の支払額	△121,165	△69,785
繰上返済精算金の支払額	—	△107,257
法人税等の支払額	△16,089	△13,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	△462,301	58,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△13,888	△19,606
有価証券の取得による支出	—	△200,000
有価証券の償還による収入	10,000	200,000
投資有価証券の取得による支出	△344	—
投資有価証券の売却による収入	49,607	—
定期預金の払戻による収入	—	80,000
事業譲渡による収入	37,037	—
出資金の売却による収入	26,807	262,781
敷金の差入による支出	—	△17,823
敷金の回収による収入	—	53,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,218	359,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000	△540,000
長期借入れによる収入	890,000	9,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,686,032	△7,208,290
建設協力金の返済による支出	—	△400,738
社債の発行による収入	650,000	—
社債の償還による支出	△50,000	△865,500
リース債務の返済による支出	△13,179	△13,179
自己株式の増減額(△は増加)	△7	△91
その他	—	△78,166

財務活動によるキャッシュ・フロー	240,780	294,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△1,296
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112,435	710,232
現金及び現金同等物の期首残高	919,966	687,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	807,531	1,397,529

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,191,979	388,316	1,229,363	2,809,659	—	2,809,659
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	546	774	△774	—
計	1,192,207	388,316	1,229,910	2,810,434	△774	2,809,659
セグメント利益又は損失(△)	461,013	△11,961	△15,402	433,649	△224,768	208,881

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△224,768千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社である(株)ロッキンガムペンを解散している。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維・アパレル事業」のセグメント資産が631,919千円減少している。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「不動産事業」から「商業施設事業」に変更している。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,202,646	399,094	676,401	2,278,141	—	2,278,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,202,874	399,094	676,401	2,278,369	△228	2,278,141
セグメント利益又は損失(△)	516,793	△20,519	△5,802	490,471	△292,460	198,011

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額292,460千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。